

2003 年度第 7 回 関東支部環境工学専門研究委員会議事録（案）

記録：西村、修正：小瀬

1. 日時：2003 年 11 月 26 日（水）18:00～20:00
2. 場所：(株)日建設計東京オフィス会議室
3. 出席者：(以下敬称略、順不同)
小瀬（東洋大学）、堀（建築研究所）、酒井（三井住友建設）、鍵（東京工業大学）、日渡（電源開発）、吉田（横浜国立大学）森（間組）、太田（横浜国立大学）、西村（芝浦工業大学）
オブザーバ（見学会）：西村（フリー）
4. 提出資料
 - 7-0 第 6 回議事録（案）（小瀬）
 - 7-1 第 7 回議事次第（小瀬）
 - 7-2 2003 年度公開勉強会企画（案）（小瀬）
 - 7-3 お知らせ（横断的テーマ採用の通知）（小瀬）
 - 7-4 横断的テーマ企画書（小瀬）
 - 7-5 住宅品確法対応状況調査報告書（酒井）
5. 公開見学会
 - (1) 建築概要：延べ床 20,000m²、地下階を可能な限り縮小し、工期の短縮が図られている。
 - (2) 設備機器を屋上に配置、基準階は直天井、耐候性に優れた外ルーバー、発熱ガラス、ブラウザ式タッチパネル、重力式消火栓など。
6. 審議事項
 - (1) 前回議事録の確認（小瀬）

了承
 - (2) 非公開勉強会及び日程について
 - ・ 12/9 18:00～建築学会会議室にて開催、を第 1 候補とする。
 - ・ 担当者は吉田委員（横浜国大）で分野はDHC関連、太田委員（横浜国大）で分野は遮音と心理状態、とする。
 - (3) 公開勉強会について
 - ・ 資料 7-3 を原案としたい。発表者は確定では無いが、出来るだけこの通りとしたい。
 - ・ 副司会者が発表者と重なるため、秋元委員（関東学院）に交代する方向で考える。
 - ・ 甲斐さんに対する謝礼金をどうするかについて、検討の要あり。
 - (4) 関東支部横断的テーマについて
 - ・ これまでの成果をまとめる方向で考えていきたい。
 - ・ 最終的な成果発表はどのような形で行うべきか考慮する必要がある。

- ・ 委員は公募にしてはどうか。

(5) 非公開勉強会

① 色素増感型太陽電池の開発（日渡）

- ・ 酸化チタン(Ti2)と電解質により構成。
- ・ ローコスト、透明、形状の自由度が高いため、フィルム状にして建材の一部として使用が考えられる。
- ・ 発電効率がやや劣る（MAXで10%程度）、耐久性が不足（現状で2年程度）が難点。

② BCSの品確法アンケートについて（酒井）

- ・ 対応状況調査：不要と思われる項目として光環境、労力を要する項目として光環境、空気環境が挙げられる。
- ・ 空気環境の測定について、1) 測定器を購入するか外注に依存するかが課題、2) 性能評価交付書はH13→H15で急増、3) アセトアルデヒドが指針値をオーバーしがちである、4) 計測を行っている現場の状態に問題があり、何らかの基準が必要なのではないか。

以 上